

## JAWRO 企画公演の座長を務めて

滋賀県立成人病センター放射線治療科  
山内 智香子

去る 11 月 17 日～19 日に大阪で開催されました日本放射線腫瘍学会第 30 回学術総会において、最終日の 11 月 19 日に JAWRO 企画講演会が開催されました。JAWRO 会長の内田伸恵先生とともに、座長を務めさせていただきましたので、講演会のご報告をさせていただきます。

今回の企画講演は、悪性リンパ腫をテーマとし、この分野でご活躍されている先生や助成医師・研究者を支援して下さっている先生に講演をお願いしようと、企画から参加させていただきました。女性医師・研究者支援の面だけでなく、学術的な講演会にしたいという思いもあり、3 名の先生方にご講演をお願いいたしました。

お一人目は三重大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学の山口素子先生で、「リンパ腫の治療：現在の到達点と今後の展望」のテーマでご講演いただきました。山口先生は悪性リンパ腫の臨床・研究で大変ご高名な先生ですが、特に鼻腔の NK/T 細胞リンパ腫の分野では放射線療法との同時併用に関する臨床研究で業績を上げられています。悪性リンパ腫の最新の知見とご自身の研究におけるご苦労についてご講演いただき、また、最後には我々女性放射線腫瘍医へのメッセージもいただきました。

お二人目は大阪府済生会中津病院 PET センター長の岡村光英先生から「悪性リンパ腫の FDG PET/CT ー診断と治療効果判定ー」のタイトルでご講演いただきました。放射線医学分野では我々の先輩であり、PET センター長として活躍され、非常にたくさんの PET 検査をご担当されている先生です。ご周知の通り、悪性リンパ腫は悪性腫瘍のなかでも特に診療上で PET 検査の有効性が明らかになっている疾患です。日頃より、非常に多数の PET 検査を担当・読影されている先生のご講演は示唆に富んでいました。

三人目はがん研究会有明病院放射線治療部の小口正彦先生より「悪性リンパ腫に対する放射線治療と女性放射線腫瘍医の活躍：ILROG メンバー紹介」のタイトルで、世界的にご活躍の女性放射線腫瘍医の紹介も含めた悪性リンパ腫に対する放射線療法の最新情報を提供していただきました。

いずれの先生方も大変ご高名かつご多忙な先生でいらっしゃいますが、この三名の先生方のご講演を拝聴できましたことは有意義でありました。学会最終日の午後の開催であり、参加者がやや少なかったことが残念でしたが、講師の先生方には深謝いたしますとともに、このような講演会を開催させていただきました手島昭樹学会大会長、座長に指名していただきました内田伸恵先生にも感謝申し上げます。さらに今後ともこのような学術的で我々の励みにもなる講演会が開催されますことを希望いたします。